

古賀市議議長 ぬま健司のニュースレター



ホームページ numakenji.jimdo.com/
Facebookも活用しています。
最新の情報やデータを発信しています。
ぜひご覧ください。私の政策・マニフェ
ストも随時アップしていきます。

ぬま健司後援会事務所
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話/FAX 092(944)2639

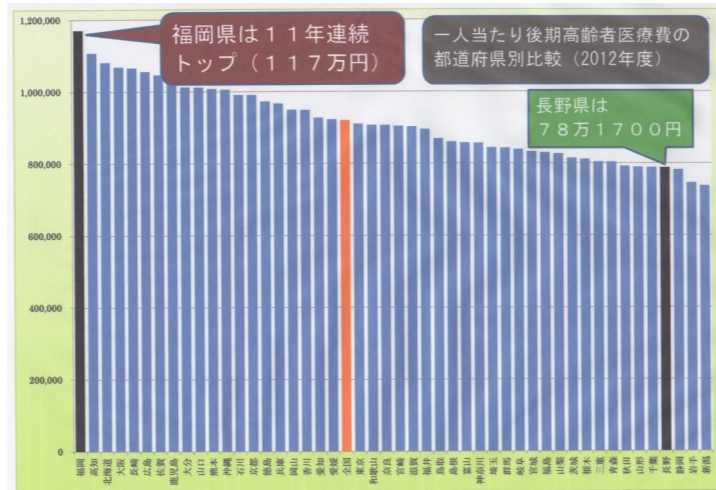
健康寿命延伸による介護費用の節減効果

10年間で10億円!

私の一般質問で明らかになりました 健康づくり経費の先行投資を提言

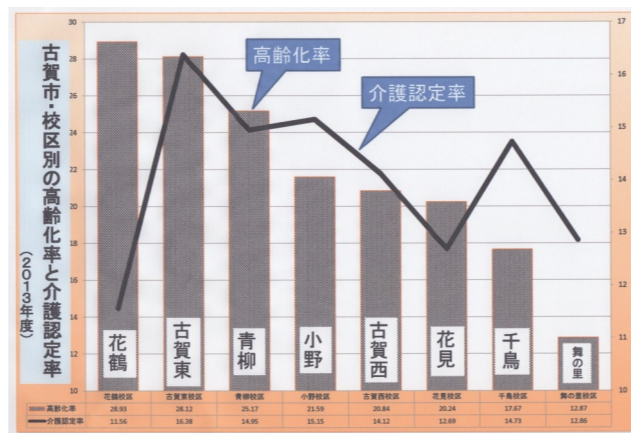
1月26日の私の一般質問で、健康寿命延伸の取り組みによる介護費用の節減効果額が10年間でなんと10億円に上ることが明らかになりました。中村市長が答弁したもので、毎年1%ずつ介護を要する人を減らした場合の推計です。この効果額が見込めるなら健康づくりに関する先行投資が必要ではないかという私の提言に対し中村市長は「来年度予算は別として財政的に苦しくても先行投資をやるという考え方でいきたい」と答弁しました。地域担当の保健師や各行政区単位の健康づくり推進委員の確保に向けて予算を組むことを求めています。

くりに関する先行投資が必要ではないかという私の提言に対し中村市長は「来年度予算は別として財政的に苦しくても先行投資をやるという考え方でいきたい」と答弁しました。地域担当の保健師や各行政区単位の健康づくり推進委員の確保に向けて予算を組むことを求めています。



●左のグラフを見て中村市長は「ショックだ。市民の健康状態と改善策を真剣に突き止め対策を講じる必要がある」と答弁しました。

▲グラフは75歳以上の1人あたり医療費の都道府県比較。福岡県は11年連続全国ワーストワンです。平均寿命全国1の長野県と比べて約40万円も高くなっています。古賀市は福岡県内60市町村中第19位です。

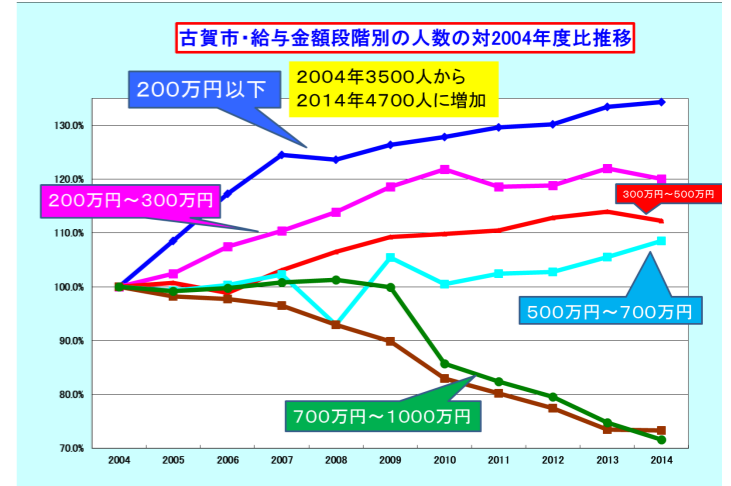


●左のグラフを見て中村市長は「非常に面白い統計だ。地域の高齢者支援も影響している。しっかり分析し、早急に対策を検討したい」と答弁しました。

▲グラフは古賀市内8小学校区の高齢化率(棒)と介護認定率(折れ線)。花鶴校区は高齢化率は高いのに介護認定率が低いという特徴があります。

古賀市民の給与所得は減少傾向 子育て支援など若い世代への支援を

▼一般質問で、市民の給与所得が1年間で21億円減少し、格差が拡大している現状を示しました。子育て支援、家賃補助など若い世代に対する施策の実施を促進します。

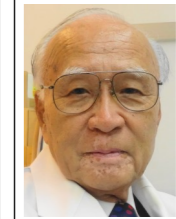


私がぬま健司さんを政治家として尊敬し推奨理由。①常識人で平凡の中にキラリ非凡さをのぞかせている人②常に問題意識を持って行動する人③政治家に最も要求される知性、品性、清潔性をもった人④私生活では厳格な倫理観をもった人。利発で温かみのあるぬまさんは、市政と議会に必要と確信します。



ぬま健司後援会
会長 近藤 清志

ぬま健司議員には地域医療の問題に一生懸命取り組んでいただいています。高齢者が安心して住み続けるには医療・介護・福祉の連携が不可欠です。今後は住み慣れた自宅で療養し最期を迎えることも多くなります。ぬま議員は地域医療のために必要不可欠な方です。私も可能な限り応援するつもりです。



大岩胃腸外科
院長 大岩 俊夫

中村市長の「所信表明」に14人が質問 私も議長として2回目の一般質問 中村哲医師の平和講演会も提案

▼1月26日、私は議長就任2回目となる一般質問をしました。●中村哲医師の講演会など平和の取り組み、所得格差対策、健康寿命延伸をテーマに市長に提言しました。写真のように大きなフリックを使って現状を明らかにし、わかりやすく論点を示しました。



昨年の市長選挙で市長が交代したため、1月13日に開会された定例会は28日に閉会しました。中村隆象市長は、「開発は自然と調和して進めるべきで、まずは生活の安定と心豊かに暮らせるまちづくりを最重要課題として進める」という所信

表明を述べました。現在16人の議員の内14人が一般質問を行いました。給食費や水道代の値下げ問題、土地利用などをめぐって活発な議論が行われました。今回の定例会で議決した主なものは以下のとおりです。

定例会での主な決定

- 生涯学習センター等工事請負契約締結(前田建設工業、16億3620万円)
- クロスパルコが指定管理者指定(コナミスポーツ、賛成11、反対4)
- 家庭生ゴミ資源化早期実施を求める請願採択(賛成11、反対4)
- 一般会計補正予算(約1億6千万円、保育所緊急整備事業補助、生活保護受給者医療扶助、水痘予防接種委託費など)

ぬま健司のプロフィール

- 1952年4月17日生まれ
- 千葉大医学部中退。
- 1995年町議初当選。現在5期目。
- 2011年5月から古賀市議会議長。
- 2011年11月 自治功労者表彰を受賞
- 「千鳥が池を愛する会」で千鳥小の自然観察会を毎年サポートしています。
- 「地域医療と市民を結ぶ会」(大岩俊夫代表)の事務局長。「福岡東医療センター・在り方検討委員会」委員長。
- 「市民じち学校」で次世代育成に尽力。
- 妻(社会福祉士)、息子(義肢装具士)、娘(栄養士)の4人家族。
- 趣味 写真、軽登山、コカリナ演奏。



ぬま健司後援会のシンボルマークです。約20年間使っています。「ふれあいとぬくもりのある古賀市」が目標です。後援会への入会を呼びかけています。

五島市議会で講演してきました 長崎新聞が報道しました

2月2日、私は長崎県五島市議会の議員研修会で古賀市議会での議会改革の経験について講演しました。長崎新聞はその結果を報道してくれました。古賀の経験が注目されています。



「脱焼却・バイオマス」で資源循環 2年以内に清掃工場の将来像を決定

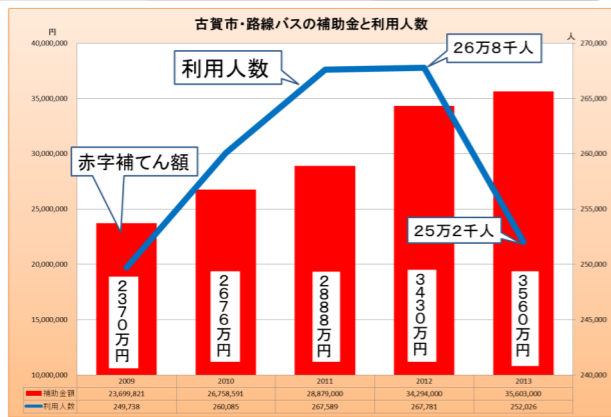
▼清掃工場に関する古賀市の負担金額は、過去10年間で約83億4千万円。市財政を圧迫してきました。●この反省に立ち、生ごみ資源化、広域処理、脱焼却による経費削減が必要。2018年中に清掃工場の今後の姿を決めます。



2016年度までに将来計画を決める清掃工場

路線バスとコミュニティバス 地方創生は地域公共交通から

▼利用しやすい公共交通の実現は多くの市民の強い願いです。健康づくり、地域活性化にも役立ちます。●路線バスと小型バスを組み合わせ、古賀市独自の交通体系を提言・実現します。国には財政支援を求めます。



解決迫られる赤字補てん増額と利用者の減少

学校教育と子育て支援 小中学校への市雇用の教員など配置 1億1700万円(2014年度予算)

- 小1プロブレム、スクールソーシャルワーカーなど市内小中学校への市独自の教職員配置(予算は約1億2千万円)を継続・発展させます。
- 保育所入所の基準改善を目指します。保護者がパートタイムでも入所しやすくするとともに、保護者が失業した場合も求職に必要な期間も預けられるよう基準の改善を低減します。(現在は20日間と短すぎる)

市民要望に応え、生活環境を整備 安全・安心、地域コミュニティ

▼県道・筑紫野古賀線は夜は真つ暗でした。地元区長や県議と協力して県に要望し、照明灯11基をついに実現しました。●安全・安心を守る市民の切実な要望に今後も全力で応えていきます。



千鳥、花見地区に合計11基の道路照明灯

▼花見小学校横の6300㎡の用地に公園整備。小学生や市民のワークショップでの声を反映させ、今年度中に実施設計、2016年3月完成見込み。●市民参画で、子どもも高齢者も楽しく過ごせるまちづくりを促進させます。



ワークショップを踏まえ2016年3月完成予定

▼千鳥駅前広場は2017年度の完成目指して取り組み中。千鳥駅の東西の狭い道路の拡幅も進行中です。●安全で快適な生活環境を実現し、定住化促進につながる魅力あるまちづくりを促進します。



計画では駅前広場完成まであと3年~4年

議会改革度、県内第1位!

(日経新聞調査・2013年)

議長就任4年・チーム議会の成果
インターネット中継、議会基本条例、議会報告会を実現
看護大との連携など改革はさらに続く!



←古賀市のホームページから議会中継や録画を見ることができるようになりました。2015年3月から予算特別委員会も中継・録画配信します。開かれた、政策提言力のある議会を目標に今後も引き続き頑張ります。



←私は議長として500回近い挨拶をしました。フリップを使って古賀市の課題をわかりやすく説明する工夫もしました。情報やデータは、まちづくりの前提です。今後も情報発信に努めます。写真は成人式での挨拶です。



←議員全員で議会としての初の報告会を3会場で開催しました。(昨年7月)今後も市民との意見交換を重視し、継続して取り組みます。写真はリーパズプラザでの報告会です。

さらなる議会改革 取り組みは続きます! 看護大とのパートナーシップ協定(2月24日) 予算特別委のインターネット中継(3月)

- ①災害発生時に議員がどう行動すべきかを定める「議会災害対応要綱」と「行動マニュアル」を策定します。大きな災害が発生したときは議長が本部長となる対策本部を設置します。
- ②福岡女学院看護大学と市議会のパートナーシップ協定を締結します。大学には研修会の講師をお願いするとともに、議場での学生の意見発表なども企画します。(2月24日に締結式と記念講演)
- ④3月定例会では本会議に加え、予算特別委員会もインターネット中継します。スマホやiPadでも見れるよう検討します。